

平成24年度第1回和歌山県後期高齢者医療制度懇話会概要

1. 日 時 平成25年3月1日（金） 午後1時30分から
2. 場 所 日赤会館 6階 会議室
3. 出席者

【委員】 遠藤委員 二村委員 林 委員 上林委員
市川委員 矢田委員 上野委員 東 委員
生駒委員 坂本委員

【事務局】

谷垣内総務課長 橋本業務課長 椎木業務課長補佐
池本業務課長補佐 新田業務課主幹

4. 次 第

- ・開 会
- ・広域連合事務局長挨拶
- ・会長挨拶
- ・会議
 - (1) 療養費の現状と今後の取り組みについて
 - (2) 保健事業の現状と今後の取り組みについて
 - (3) その他
 - (4) 閉会

5. 会議内容

次第(1)・療養費の現状と今後の取り組みについて

事務局より資料に基づき、療養費、特に針灸マッサージの支給申請書に、間違いが多く見受けられることから保険者として適切な支給等を行うために、関係者との協議や被保険者に対し啓発活動を通じ療養費の適正化に努めている旨の説明を行いました。

(委員)

広域連合が昨年実施した柔道整復の文書照会ですが、回収率90%近くあるなど反響あったようだが、この調査について、被保険者の特徴的な声はどのようなものがあったのか？

(事務局)

「接骨院の本人負担金が安くてありがたい」と言った意見や、中には「先生調査来たので、内容見ると実際に来た回数より調

査にあった回数が多いように思うんですけど？」と聞くと、先生が「もうここへ来んといて」と言われた。など、調査に対し開き直る事例もあつたり、今回様々な反響がありました。
(事務局) 今後も引き続き、療養費の適正化に努めてまいります。

次第(2)・保健事業等の現状と今後の取組について

事務局より資料に基づき、健康診査の受診目標を、受診率 7%達成を目指し取り組んでいる事や、人間ドックの実施状況、今年度から実施しているジェネリック医薬品の利用に伴う被保険者への差額通知の状況を説明しました。また、肺炎球菌ワクチン予防接種事業を平成 25 年度事業として補正予算対応で実施できるよう計画しているなど新たな事業についても説明を行いました。

(委員)

死因は癌、心疾患、脳血管疾患に次いで肺炎が 4 位であつたように思う、実施できれば良いのだが和歌山市が事業化できるのか、また、財政的に大丈夫なのか心配である。

(事務局)

この事業は滋賀県が先進的ですが、人口的にも和歌山県と似かよっており、ここを例にしますと、毎年度 1 万人程度の受診者となっております。これは約 7 パーセントの被保険者であり、国の補助金を利用しながら和歌山県でも十分実施可能なものと考えております。

(委員)

是非とも事業実施していただけるようお願いする。

次第(3)・その他

事務局より、昨年の委員会で意見のあつた、全国的な中での和歌山県の状況、特に保険料についての資料が欲しいとの意見に沿い、資料(厚生労働省資料：後期高齢者医療制度の平成 24・25 年度保険料率等)を提出し、年金収入 201 万円の一人暮らしの方で、月額 4,533 円、全国で高い順に 25 位であることなど説明しました。

6. 閉会

(事務局)

以上をもちまして平成 24 年度後期高齢者医療制度懇話会を閉会とさせていただきます。